

利 用 実 証 計 画 書

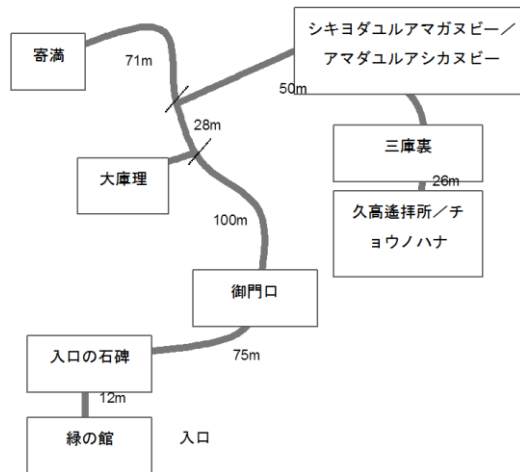
平成 25 年 2 月 18 日 Ver. 1

テーマ	世界遺産斎場御嶽における自動音声案内の有効性に関する実証	
実施機関 (共同機関)	沖縄県南城市 (西日本電信電話株式会社沖縄支店、株式会社イーサー)	
目的	準天頂衛星の高精度位置情報を活用した文化遺産の自動音声案内効果を実証することを目的とする。その実証により、本市内の自然環境における信号の受信状況や、自動音声案内を通じた無人案内サービス提供の実効性、有効性を確かめ、今度の観光振興や街づくりへ検討に役立てるものである。	
内容	本市ではこの5年間に渡り、ICT 技術を活用した様々な観光案内に努めてきたが、現在の普及技術を活用しても、きめ細かい観光案内や解説は困難であることがわかってきた。これらの問題を解決するために、本市では日本版 GPS と称される準天頂衛星を活用した革新的な観光案内を模索しているところであり、その技術の早期製品化を期待してきた。本事業を通じて、先行して準天頂衛星を活用した観光案内に取り組み、その効果を検証したい。	
期間	全体	H25. 3. 1 ~ H25. 3. 30
	時間・頻度	午前9時～午後6時の間
構成	全体構成については次紙を参照ください。	
システム要求	受信信号	GPS-L1CA,QZS-L1CA、QZS-L1SAIF
	受信設備	メモリーカード型衛星測位受信機(QZSR),PDA(iPad),Andorid 端末
	受信場所	沖縄県南城市 斎場御嶽
	事前準備	特に無
	実証時	特に無
	事後処理	特に無
	その他	特に無
特記事項	山道上、天空の開口部が少ない	

実験構成

スマートフォンアプリケーションは、世界遺産齋場御嶽内の歩道で位置情報信号を受信し、歩行位置に対応した解説、効果音などを自動再生する。アプリケーションは利用者の移動状況を記録し、行動パターンに応じて再生ファイルを効果的に切り替え、不思議感のある案内演出を行う。

走行ルート



構成

スマートフォンで位置に応じて、音声ナビと同期させる。

